

1 得点分布及び小問ごとの正答率

表1 総点の得点分布

| 得点    | 人数 690人 |      |
|-------|---------|------|
|       | 人数      | %    |
| 100   | 0       | 0.0  |
| 90～99 | 28      | 4.1  |
| 80～89 | 101     | 14.6 |
| 70～79 | 192     | 27.8 |
| 60～69 | 164     | 23.8 |
| 50～59 | 112     | 16.2 |
| 40～49 | 61      | 8.8  |
| 30～39 | 24      | 3.5  |
| 20～29 | 8       | 1.2  |
| 10～19 | 0       | 0.0  |
| 1～9   | 0       | 0.0  |
| 0     | 0       | 0.0  |

表2 小問別正答率(%)

| 大問 | 小問 | 正答率  |
|----|----|------|
| ㊦  | 問一 | 97.8 |
|    | 問二 | 53.8 |
|    | 問三 | 95.8 |
|    | 問四 | 88.4 |
|    | 問五 | 55.3 |
|    | 問六 | 82.2 |
| 小計 |    | 77.4 |
| ㊧  | 問一 | 82.3 |
|    | 問二 | 67.5 |
|    | 問三 | 51.4 |
|    | 問四 | 62.5 |
|    | 問五 | 81.0 |
| 小計 |    | 68.6 |

| 大問 | 小問   | 正答率  |
|----|------|------|
| ㊨  | 問一   | 48.2 |
|    | 問二   | 55.6 |
|    | 問三   | 80.1 |
|    | 問四   | 8.9  |
|    | 問五   | 56.1 |
|    | 問六   | 54.4 |
| 小計 |      | 49.7 |
| ㊩  | 問一   | 97.1 |
|    |      | 47.5 |
|    |      | 88.4 |
|    |      | 62.9 |
|    |      | 41.4 |
|    |      | 80.4 |
|    |      | 65.4 |
|    | 91.4 |      |
| 問二 | 88.3 |      |
| 小計 |      | 73.7 |

2 分析結果の概要

(1) 大問別正答率の推移

| 大問        | 平成13年度 | 平成14年度 | 平成15年度 | 平成16年度 | 平成17年度 |
|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|
| ㊦ 文学的文章   | 83.5   | 67.5   | 75.9   | 58.6   | 77.4   |
| ㊧ 説明的文章   | 71.5   | 64.4   | 50.1   | 61.2   | 68.6   |
| ㊨ 融合      | 60.0   | 57.0   | 56.5   | 63.2   | 49.7   |
| ㊩ 読み書き・書写 | (80.4) | (83.4) | 65.1   | 74.4   | 73.7   |

㊩は、それまで各大問中で問われていた、読み書き・書写問題を、平成15年度から一つにまとめて設けられた。平成13年度及び平成14年度の㊩の欄は、各大問中にある読み書き・書写問題の正答率である。

(2) 正答率の高い問題(㊩を除く)

| 正答率  | 問題番号 | 問題内容                 |
|------|------|----------------------|
| 97.8 | ㊦の問一 | 文脈に即して副詞を補充する問題      |
| 95.8 | ㊦の問三 | 言葉の意味を的確にとらえる問題      |
| 88.4 | ㊦の問四 | 文章の表現からその場の様子を推察する問題 |

(3) 正答率の低い問題(㊩を除く)

| 正答率  | 問題番号 | 問題内容                       |
|------|------|----------------------------|
| 8.9  | ㊨の問四 | 古典の文章の内容に即して、適切な言葉を書き込む問題  |
| 48.2 | ㊨の問一 | 返り点をうつ問題                   |
| 51.4 | ㊧の問三 | 論の展開に即して、抜き出された文の位置を指摘する問題 |

(4) 得点分布、正答率からみた傾向

総点の得点分布において、70点以上の割合が昨年度と比べ9.1ポイント上がった。大問別の正答率では、㊦が最も高く、㊨が最も低い。昨年度と比べ㊦、㊧の正答率は上がった。㊨の正答率は、問四の正答率が特に低く、昨年度と比べ13.5ポイント下がっている。

小問別において正答率が高かったのは、文脈に即して副詞の「しきりに」と「すぐ」を選択肢の中から補充する問題、「案の定」という言葉の意味を前後の文脈から判断する問題、文章表現を通して「海の広さ」を具体的に描写している箇所を推察する問題である。

正答率が特に低かったのは、「そのような」という語句の示す、具体的な内容を指摘する問題である。また、漢文の訓読に必要な基礎的事項である返り点(レ点)をうつ問題、文章の論旨の展開を「けれども」という接続詞に着目して正確にとらえる問題も正答率が低かった。

3 小問ごとの内容及びねらい( は, 主たる領域・言語事項 は副次的領域・言語事項)

| 分野                  | 大問 | 小問 | 内容及びねらい                                     | 設問方法     |    |    | 領域・言語事項      |          |          |          | 備考 |
|---------------------|----|----|---|----------|----|----|--------------|----------|----------|----------|----|
|                     |    |    |   | 符号<br>選択 | 抜出 | 記述 | 話すこと<br>聞くこと | 書く<br>こと | 読む<br>こと | 言語<br>事項 |    |
| 文学的文章<br>(小説)       | ㊦  | 一  | 文脈に即して副詞を補充することができる。                        |          |    |    |              |          |          |          |    |
|                     |    | 二  | 文章の表現から登場人物の行動を推察することができる。                  |          |    |    |              |          |          |          |    |
|                     |    | 三  | 言葉の意味を的確にとらえることができる。                        |          |    |    |              |          |          |          |    |
|                     |    | 四  | 文章の表現からその場の様子を推察することができる。                   |          |    |    |              |          |          |          |    |
|                     |    | 五  | 登場人物の行動やその場の様子から人物の心情を推察することができる。           |          |    |    |              |          |          |          |    |
|                     |    | 六  | 文章の展開に即して, 内容や文章表現の特徴をとらえることができる。           |          |    |    |              |          |          |          |    |
| 説明的<br>文章           | ㊦  | 一  | 文脈に即して接続詞を補充することができる。                       |          |    |    |              |          |          |          |    |
|                     |    | 二  | 論の展開を踏まえて, 該当する内容を含む文を文章中から見つけ, まとめることができる。 |          |    |    |              |          |          |          |    |
|                     |    | 三  | 論の展開に即して, 抜き出された文の位置を指摘することができる。            |          |    |    |              |          |          |          |    |
|                     |    | 四  | 論の展開を踏まえて, 内容をとらえ, ある文が表している内容をまとめることができる。  |          |    |    |              |          |          |          |    |
|                     |    | 五  | 論の展開を踏まえて, 文章の要旨を選択肢の中から指摘することができる。         |          |    |    |              |          |          |          |    |
| 融<br><br>合          | ㊦  | 一  | 返り点をうつことができる。                               |          |    |    |              |          |          |          |    |
|                     |    | 二  | 古文の仮名遣いを現代仮名遣いになおすことができる。                   |          |    |    |              |          |          |          |    |
|                     |    | 三  | 文章の流れに即して, 適切な句を選択肢の中から指摘することができる。          |          |    |    |              |          |          |          |    |
|                     |    | 四  | 古典文章の内容に即して, 適切な言葉を書き込むことができる。              |          |    |    |              |          |          |          |    |
|                     |    | 五  | 内容をとらえ, 必要なことをまとめた的確に書くことができる。              |          |    |    |              |          |          |          |    |
|                     |    | 六  | 内容をとらえ, 必要なことをまとめた的確に書くことができる。              |          |    |    |              |          |          |          |    |
| 読み<br>書き<br>・<br>書写 | ㊦  | 一  | 教育漢字を正しく書くことができ, 常用漢字を正しく読むことができる。          |          |    |    |              |          |          |          |    |
|                     |    | 二  | 毛筆で書かれた行書をもとに, 行書の筆使いの特徴に気付き, その漢字の偏が分かる。   |          |    |    |              |          |          |          |    |

基礎的・基本的事項の設問には, 備考欄に が付してある。

#### 4 標準解答及び考察



##### 標準解答

|    |  |
|----|--|
| 問一 | ウ  |
| 問二 | 昇平を振り返った   |
| 問三 | エ  |
| 問四 | 青空の下に  |
| 問五 | (例) 自分たちの力だけで長い距離を自転車で走り、ついに海が見えるところまで来たという晴れやかな気持ち。 |
| 問六 | イ  |

##### 考察

少年たちが自分たちの力だけで目的地に到達するまでの言動を、生き生きと描いているところが魅力の素材を通して、文学的文章の読解力をみる問題である。具体的には、叙述に即して、表現の意味や登場人物の心情、内容を的確に理解する力をみる問題である。

文脈に即して副詞を補充する問一、言葉の意味を的確にとらえる問三、文章の表現からその場の様子を推察する問四、文章の展開に即して、内容や文章表現の特徴をとらえる問六は、正答率が高かった。しかし、文章の表現から登場人物の行動を推察することができるかどうかを問うた問二、登場人物の行動やその場の様子から人物の心情を推察してまとめなければならない問五の正答率が低かった。

問二で多かった誤答は、「あえてそのまま走る」である。主人公が友達を追い抜いたことが分かる行動を抜き出す問題に対して、自転車のギアを変換しない理由の箇所を抜き出している。「あえてそのまま走る」と「昇平を振り返った」の間にある「追い抜けそうだった」などの表現を正確に読み取れていないと考えられる。問五では、「自分たちの冒険」の内容である二点、「自分たちの力だけで」と「長い距離」のうち一つしか押さえていないものがあった。これは、文章後半の「自分たちの力だけでここまで来たのだと思うと、胸の奥に確かな満足感が広がってくる。」という表現を押さえていないことが原因と思われる。

そこで指導に当たっては、次の二つに留意する必要がある。

- ・ 文章を読んで特に重要だと思う部分や印象に残った部分に着目させ、それを手がかりにして読みを深めるようにすること。
- ・ ワークシートなどを活用して、なぜこのような書き方をしているのか、どのような工夫をしながら書いてあるのか、等の表現の仕方に着目させるようにすること。

また、学校図書館などを活用して、生徒の読書活動を積極的に行うことも大切である。



##### 標準解答

|    |   |
|----|---|
| 問一 | ア   |
| 問二 | (例) 声の大きさが強く、音の質が緊迫感を帯びている。   |
| 問三 | 努めるだろう。   |
| 問四 | (例) 小さすぎる音には無反応で、音が大きくなると音が出ているスピーカーの方向へ頭を向けるが、あまり大きい音だと、音が流れてこないスピーカーの方向へと頭を回転させる。 |
| 問五 | ウ   |

##### 考察

赤ちゃんがことばを理解する上で母親との交渉がいかに大切かを、観察を通して分かりやすく述べている点に魅力が感じられる素材を通して、説明的文章の読解力をみる問題である。具体的には、論の展開に即して、内容を正確に読み取り、全体の要旨をとらえる力をみる問題である。また、論理的な見方や考え方を養い、視野を広げるといふ点にも配慮した問題である。

文脈に即して接続詞を補充する問一、論の展開を踏まえて、文章の要旨を選択肢の中から指摘する問五は、正答率が高かった。しかし、論の展開を踏まえて、該当する内容を含む文を文章中から見つけ、まとめる問二、挿入する一文の冒頭の「けれども」という逆接の言葉に着目して、直前にこの一文とは反する事柄がきているはずだと予測できるかどうかを問うた問三、論の展開を踏まえて内容をとらえ、ある文が表している内容をまとめる問四の正答率が低かった。

問二では、「お母さんの声の性状」の内容である二点、「声の大きさが強いこと」と「緊迫感を帯びていること」の一つしか押さえていないものがあった。問三では、「と考えられる。」という誤答が多か

った。問四では、「逆V字型」を的確に説明できていない解答が多かった。

そこで指導に当たっては、次の四つに留意する必要がある。

- ・ 設問に合わせた文のまとめ方，字数制限に合わせたまとめ方を意識させること。
- ・ 段落相互のつながりや筆者の論理の展開を，筆者の判断や感想などを区別しながら読み取り，文章を思考の流れに沿ってとらえさせること。
- ・ 平素から，比較的長めの文章を読ませて，何について書いてあるのか，その要点をまとめさせる場を多く設定すること。
- ・ 抽象的な概念を表す語句について意識させ，語感を磨くこと。

### 三

#### 標準解答

|    |  |
|----|--|
| 問一 | 水があるという  |
| 問二 | にぎわわしき   |
| 問三 | B  |
| 問四 | (例) 水があるという  |
| 問五 | (例) 自分も作者と同じような体験があったことに思い当たった点。   |
| 問六 | (例) 学校からの帰り道、暗くなったので急いで歩いているときに、足もとの自分の影に気がついた。夜空を見上げると月が出ていた。ふだん月の明るさを意識することがなかったので、影をつくるほどに明るいのだと感動した。 |

#### 考察

『おくのほそ道』の学習のまとめとして，旅での思いや外出先で自然に触れた感動を述べた古典の文章を読み比べる中学校の授業を通して，内容を正確に読み取る力，文章を効果的に活用する力，言語感覚等の基礎的な力をみる問題である。そして，

- ・ 古典の基礎としての，仮名遣いや漢文のきまりに着目させるようにすること。
- ・ 古典の文章を通して旅や自然について考えを深め，豊かな人間性を養うこと。
- ・ 身近な自然についての考えを深めるのに役立つこと。

という点にも配慮した問題である。

文章の流れに即して，適切な句を選択肢の中から指摘する問三の正答率が高かった。しかし，返り点をうつ問一，古文の仮名遣いを現代仮名遣いになおす問二，古典文章の内容に即して，適切な言葉を書き込む問四，内容をとらえ，必要なことをまとめた的確に書く問五，内容をとらえ，必要なことをまとめた的確に書く問六の正答率が低かった。

問一では，レ点が「一字だけ返って読むことを示す」ということを理解していない誤答が多かった。問二では，「にぎわはしき」という誤答が多かった。問四では，「草や水の葉が青い」という誤答が多かった。問五では，「みんな，ふだん見過ごしていた身近な自然に改めて感動したから」など，古典の作者と関連させずに解答しているものが目立った。問六では，再発見したことによる感動の視点がない解答が多かった。

そこで指導に当たっては，次の三つに留意する必要がある。

- ・ 文章を読む際に，必要な情報は何かということ意識させること。
- ・ 場面に応じて分かりやすく表現する方法を意識させること。
- ・ 文章を書かせる学習課題を設定する時に，自分や相手についての具体的なイメージを明確に持たせるようにすること。

### 四

#### 標準解答

|    |    |     |      |      |    |   |    |    |
|----|----|-----|------|------|----|---|----|----|
| 問一 | おお | たいだ | りんかく | にゆうわ | 優勢 | 誤 | 就職 | 資源 |
| 問二 | エ  |     |      |      |    |   |    |    |

#### 考察

問一は漢字の読みと書き取りの問題で，全体の正答率は71.8%であり，昨年度より2.4ポイント低くなった。最も正答率が高かったのは「覆う」の97.1%で，最も低かったのは「優勢」の41.4%であった。主な誤答例としては，「有勢」「優成」「有制」と書いたものが多くみられた。

問二は行書の筆使いの特徴に注意して，偏が同じ漢字を選ぶ問題で，昨年度より11.3ポイント高くなった。

そこで，漢字を読んだり書いたりすることは，文字情報理解の基礎であるので，語彙指導の形態で取り出して指導することはもちろんのこと，読書活動などにおいても指導するよう配慮したい。